

6

通水 50 周年記念事業

1. 荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念マンホール蓋お披露目式

「荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念マンホール蓋お披露目式」を晴天に恵まれた「荒川・下水道フェスタ 2022」会場内で開催しました。

式典には、主催者である今成貞昭埼玉県下水道事業管理者、末柄勝朗埼玉県下水道公社理事長が出席したほか、地元戸田市からは菅原文仁戸田市長、金野桃子埼玉県議会議員、浅生和英戸田市笹目地区環境対策協

議会会長、永井富治戸田市美女木地区まちづくり協議会会長にご出席いただきました。また、令和 4 年（2022 年）12 月からマンホールカードを配布いただき、イオンモール北戸田などの関係者の方々にもご出席いただきました。

多くの観覧者が見守る中、盛大に 50 周年記念マンホール蓋のお披露目がされました。



■ 写真 - 1 通水 50 周年記念マンホール蓋お披露目式
（上：布を引きマンホール蓋お披露目、下：関係者によるマンホールポーズ）

お披露目式の開催

このお披露目式が、荒川左岸南部流域下水道通水50周年を記念した新しいマンホール蓋の初公開となったため、マンホール蓋愛好家の方々も強い興味を持たれたようです。式典は13時からでしたが、中には朝7時頃から会場に来られた方もいらっしゃいました。あちこちで、今か今かとお披露目の瞬間を待っている様子が見受けられました。

式典終了後には、この日のために新規発行した荒川左岸南部流域下水道通水50周年記念マンホールカードを、会場内限定で配布しました。どうしても入手したい愛好家の方々午前中から続々とお越しになり、イベント開始前から早くも人で溢れる状況でした。

特設ステージ前には、初お披露目となる荒川左岸南部流域下水道通水50周年記念マンホール蓋が準備されており、「どんなデザインなんだろう」と話している方も多く、関心の高さが感じられました。

式典は予定どおり開始され、主催者を代表して今成貞昭埼玉県下水道事業管理者、末柄勝朗埼玉県下水道公社理事長の挨拶、続いて来賓を代表して菅原文仁戸田市長、金野桃子埼玉県議会議員のおふたりからご祝辞をいただきました。

その後、浅生和英戸田市笹目地区環境対策協議会会長、永井富治戸田市美女木地区まちづくり協議会会長、町野弘幸イオンリテール(株)北関東カンパニー東埼玉事業部長、坂本剛イオンリテール(株)北関東カンパニーイオンスタイル北戸田店長といった来賓の皆様をご紹介いたしました。

次に通水50周年記念マンホール蓋の披露を行いました。盛大な拍手の中、主催者と来賓一同がマンホール蓋を覆った布のロープを引き抜くと同時に布が払い落とされ、記念マンホール蓋が登場しました。その瞬間、多くのカメラがステージに向けられていました。

その後、マンホール蓋を仮設置した時の映像をステージ前のモニター画面で放映しました。また、このお披露目式終了後の当日中に設置を行ったため、翌日には早速、実際に設置されたマンホール蓋を見に来られる方がいらっしゃったそうです。

式典の最後には、埼玉県の下水道マスコットである「クマムシくん」と「クマニャンコちゃん」が登場し、

主催者・来賓、全員で記念撮影を行いました。シャッターを切るタイミングで、登壇者全員がマンホールポーズをとるといふ演出に笑顔が溢れていました。

観覧者プレゼントを実施

お披露目式が盛大に執り行われ無事終了した後も、この式典を観覧いただいた方々に記念として、埼玉県内で生育されたガーデンシクラメンを1鉢ずつ配布しました。プレゼントは、「荒川・下水道フェスタ2022」にゲスト出演いただいた歌手のEyes'(アイズ)さん、有希(ゆうき)さんが務め、計120鉢の配布を行いました。

また、この式典には、戸田市少年サッカー連盟所属のサッカーチーム5団体にも会場にお越しいただきました。感謝の気持ちを込めて、記念品であるサッカーボールを今成貞昭埼玉県下水道事業管理者より、各チームの代表者に手渡しでプレゼントしました。少年たちが、サッカーボールを嬉しそうに代わる代わる触れている様子は、見ていて微笑ましいものでした。記念撮影時にも、少年たちの笑顔が溢れていました。

さいごに

この式典は、屋外での開催ということもあり、前日まで天気大丈夫かという不安がありました。幸いにも当日は、晴天に恵まれ、出席者・観覧者とともに笑顔があふれる楽しい式典にすることができました。



「デザインマンホールお披露目」について



荒川左岸南部
下水道事務所

1 業務内容

① 来賓対応(到着時から帰路にたつまで)

- ・駐車場、控室、ステージ誘導、視察対応、県幹部挨拶など

② ステージ進行補助

- ・イベント運営会社、司会者との調整

③ ガーデンシクラメン配布(長机2台セット)

- ・引換整理券の配布、回収
- ・式典終了後直ちに120ポット袋詰め、プレゼンターの補助

④ 招待客への対応 ※式典終了後(サッカーチーム5団体)

- ・サッカーボールの贈呈(@3個×5チーム)

●タイムスケジュール(案)

(開始前) ステージ前方(公園管理棟前)

12:00~12:40 歌手によるパフォーマンス

12:40~12:50 歌手MC協力による観客の呼び込み

12:50~13:00 ステージ転換、司会者MC(案内)

(開催時)

13:00~	開会
13:00~	下水道事業管理者挨拶
	下水道公社理事長挨拶
	戸田市長挨拶
	金野県議挨拶
	来賓紹介
13:15~	記念マンホールお披露目
	記念マンホール設置場所紹介
13:20~	記念撮影(集合写真)
(終了後) ステージ前	
13:20~13:40	観覧者へガーデンシクラメンの プレゼント(120ポット)

花のプレゼント

- ステージを装飾していたガーデンシクラメン(120ポット)を観覧者にもれなくプレゼント
- お披露目終了後、歌手(2名)より観覧者へ配布
- 戸田市の協力により公園利用者向けに事前及び当日告知

お披露目当日の天候(雨天など)に関わらず、120名程度の観覧者は確保できる見込み





※屋根付きステージのイメージ
(W9000×D5400)

※雨天時にも対応するためステージに屋根を設置

◆会場レイアウトイメージ 屋根付きステージW5400×D3600×H450



■ 図 - 1 50周年記念マンホール蓋お披露目式 開催企画書



■ 写真 - 2 戸田市少年サッカー連盟所属チームへのサッカーボール贈呈



■ 写真 - 3 戸田市少年サッカー連盟所属チームとの記念撮影

2. 荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念マンホール蓋の製作～納品

埼玉県荒川左岸南部流域下水道の通水 50 周年を記念し、令和 4 年（2022 年）にデザインマンホール蓋を埼玉県版と埼玉県下水道公社版の 2 種類製作しました。デザインマンホール蓋は令和 4 年（2022 年）10 月 15 日に開催した「荒川・下水道フェスタ 2022」でお披露目式を執り行い、同年 12 月から埼玉県版はイオンモール北戸田前、埼玉県下水道公社版は荒川水循環センターの守衛室前に設置しています。



写真 - 1 デザインマンホール蓋（左：埼玉県版、右：埼玉県下水道公社版）

デザインマンホール蓋の製作

令和 4 年（2022 年）10 月に荒川左岸南部流域下水道が通水 50 周年の節目を迎えることを記念し、デザインマンホール蓋の製作及びマンホールカード発行方針が決定されたのは同年 4 月のことです。

それから 10 月の記念月までの半年の間で、マンホール蓋のデザイン作成、デザイン決定、マンホール蓋の発注・製作・納品・取り付け、マンホールカード発行申請などを進めました。

その中でもまず、マンホール蓋のデザインを決めなければなりません。そこで、50 周年を記念したマンホール蓋であれば、「職員からデザインを募集すればいいのでは」とのアイデアが出され、それがただちに採用されました。また 50 年の歴史を刻むには埼玉県だけでなく、下水道施設の維持管理を担ってきた埼玉県下水道公社も含めて 2 種類を製作した方が良いとの意見が出され、その案も採用されました。

その後、荒川左岸南部下水道事務所、埼玉県下水道

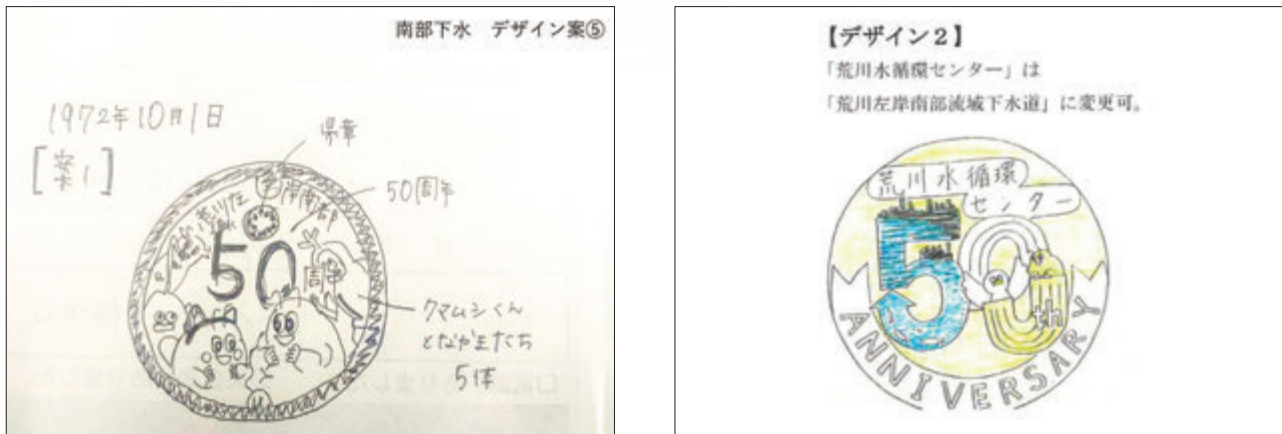
公社それぞれの職員から出された案の中から、50 周年を記念するにふさわしいデザインを選定することができました。

なお、埼玉県のデザイン選定は、荒川左岸南部下水道事務所職員から提案された中から職員による投票により行われました。また、埼玉県下水道公社のデザイン選定は、荒川左岸南部支社職員から提案された中から埼玉県下水道公社により行われています。

デザインマンホール蓋の納品

その後、すぐにマンホール蓋を発注することで、マンホール蓋の納品及びお披露目式当日の取り付けに間に合わせました。

今回製作したデザインマンホール蓋は、埼玉県荒川左岸南部流域下水道の通水 50 周年を記念したものです。より多くの人の目に触れる場所に設置したいとの考えから、イオンモール北戸田前の歩道に設置しました。



■ 図 - 1 通水 50 周年記念マンホール蓋 原案 (左: 埼玉県、右: 埼玉県下水道公社)

荒川左岸南部流域下水道 通水50周年記念マンホールについて

1 概要

- 令和4年10月に通水50周年を迎えることを記念してデザインマンホール2種類を製作する。
- 職員応募によりデザイン案を集め選定する。
 - ・県デザイン(南部事務所) ・公社デザイン(南部支社)

2 デザインマンホールの製作・取り付け

●経過及び予定

令和4年5月上旬	デザイン募集開始
令和4年5月下旬	デザイン提出 ・事務所8案 ・支社3案
令和4年6月上旬～	デザイン案の選定

(事務所)

- ・全職員の投票により上位2案を選定
- ・2案を正式にデザイン化した上で左記デザインを選定

(支社)

- ・公社本社により左記デザインを選定

令和4年9月下旬	デザインマンホール納品 6個(3個×2種類) 設置用、展示用(事務所・支社)
令和4年10月15日	デザインマンホール取り付け

3 設置場所

- ◆県デザインマンホール イオンモール北戸田隣接の歩道

- ◆公社デザインマンホール 荒川水循環センター入口守衛室横

4 デザインマンホールお披露目

「荒川・下水道フェスタ2022」会場内特設ステージにて50周年記念マンホールをお披露目する。

日時: 令和4年10月15日(土) 13:00～13:20

出席者: 戸田市長、戸田市選出県議、地元協議会会長、イオン関係者、下水道事業管理者、下水道公社理事長

5 今後の予定

- ・マンホールカード発行
- ・イオンモール北戸田店でのマンホールカード配布
- ・荒川左岸南部下水道通水50周年記念誌の発行(令和5年度)

■ 図 - 2 荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念マンホール蓋 企画書

さいごに

デザインマンホール蓋の公開、マンホールカードの配布等を通じて、非常に多くの方々目に直接触れる機会が創出できました。振り返ってみると、多くの関

係者の協力を得ることで、荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念の効果的・効率的な広報へとつなげられたと感じています。

3. マンホールカード

マンホールカードは下水道広報プラットフォーム (GKP) が企画・監修するマンホール蓋のコレクションアイテムで、マンホール蓋を管理する地方公共団体と GKP が共同で作成したカード型のパンフレットです。

荒川左岸南部流域下水道の通水 50 周年を記念した 2 種類のマンホールカードを令和 4 年 (2022 年)

10 月 15 日の「荒川・下水道フェスタ 2022」と、同年 11 月 19 日の「第 10 回マンホールサミット in 所沢」で特別配布しました。通常配布は同年 12 月からイオンモール北戸田で行っています。

なお、荒川左岸南部流域下水道では以下の場所でデザインマンホール蓋の設置及びマンホールカードの配布を行っています。

種 類	デザインマンホール蓋の設置場所	マンホールカード配布場所
荒川左岸南部流域下水道	国道 298 号の「埼玉県荒川左岸南部下水道事務所」の案内板がある側道沿い	荒川水循環センター
通水 50 周年記念 (埼玉県)	国道 298 号「イオンモール北戸田」の側道沿い	イオンスタイル北戸田 (3 階サービスカウンター)
通水 50 周年記念 (埼玉県下水道公社)	荒川水循環センター守衛室前	荒川水循環センター

※令和 6 年 (2024 年) 3 月末現在

マンホールカードの発行

デザインマンホール蓋の発注と並行してマンホールカード発行申請も行いました。多くの関係者の方に共感していただき、発行に向けた申請においても申請書の記載方法のアドバイスや不備事項の補正等について多大な協力をいただきました。

マンホールカードは、多くの人に受け取っていただきたいとの考えから、より利便性の高いイオンスタイル北戸田 (3 階サービスカウンター) で配布していただくことにしました。埼玉県とイオン(株)・イオンリテール(株)が既に包括的連携協定を締結していることから、イオンリテール(株)の担当者様にお願いさせていただいたところ、快くお引き受けいただきました。その後、具体的な配布方法等について複数回の打合せを重ね、意見調整をした結果、令和 4 年 (2022 年) 12 月 1 日より、配布を行っていただけることとなりました。

また、通常配布より先に、10 月 15 日開催の「荒川・

下水道フェスタ 2022」会場内及び同年 11 月開催の「第 10 回マンホールサミット in 所沢」会場内限定で特別先行配布を行っています。

特にマンホールサミット会場内の配布については、イベント主催者であり、かつマンホールカード発行団体である GKP との合同企画として実施することとしました。イベント当日は全国からマンホール蓋愛好家など多くの来場者の方々へマンホールカードを配布することができました。当日配布用のカードがイベント終了時間前に全て配布終了するほどで、カード受け取りのための列が常に途切れることはありませんでした。

さいごに

イベント会場でのマンホール蓋展示、マンホールカード配布を通じて、マンホール蓋愛好家等に対して、話題を集めることができました。

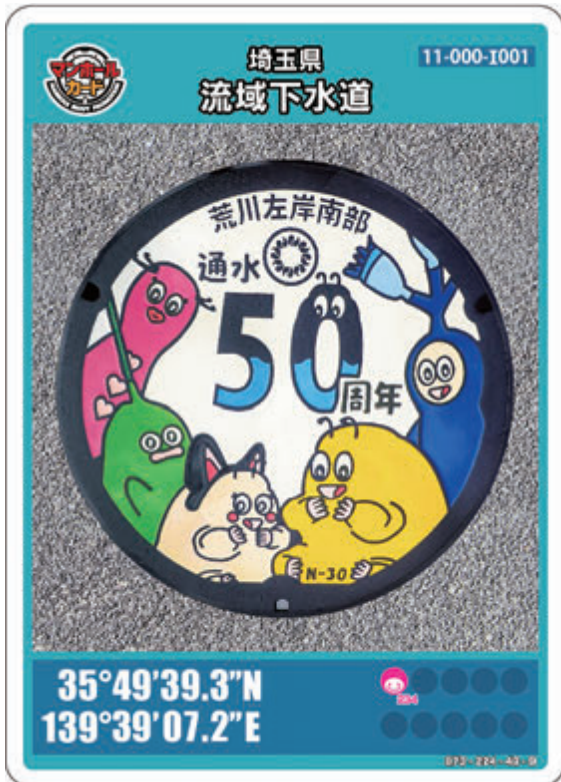


図 - 1 通水 50 周年記念 埼玉県版 マンホールカード



図 - 2 通水 50 周年記念 埼玉県下水道公社版 マンホールカード

4. 荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念 「荒川・下水道フェスタ 2022」

荒川左岸南部流域下水道は、昭和 47 年（1972 年）10 月に供用を開始し、令和 4 年度（2022 年度）に節目となる通水 50 周年を迎えました。令和 4 年

（2022 年）10 月 15 日に「50 周年記念デザインマンホール蓋のお披露目式」を兼ねた「荒川・下水道フェスタ 2022」を開催しています。



写真-1 パフォーマー全員とクマムシくん、クマニャンコちゃん

50 周年を記念し特別なプログラムで構成

「荒川・下水道フェスタ」は新型コロナウイルスの影響により 3 年振りの開催となりました。引き続き感染防止に配慮する必要性から、自治会を通じて近隣住民にのみ開催を周知するとともに、縁日や遊具をチケット制にするなど会場内が密とならないように工夫を講じました。

そして、令和 4 年度（2022 年度）は通水 50 周年を広く PR する記念イベントを兼ねたこともあり、地元戸田市の協力をいただき、初めて市の都市公園であ

る「荒川水循環センター上部公園」での開催が実現できました。50 周年記念マンホール蓋のお披露目式典やマンホールカードの配布など特別なプログラムを加え、会場は終始たくさんの方々に賑わいました。

特に 50 周年を記念して製作したマンホール蓋は、この会場内で初お披露目となることから、どのようなデザインなのか、興味・関心を持つ方々が式典開始を今か今かと待ちわびている姿があちこちで見られました。

戸田市と協働し、4,500 人が来場

その他にも、下水道事業を PR する各種ブースや大道芸人や歌手によるパフォーマンスなどに思い思いに参加・観覧され、お楽しみいただき、約 4,500 人と大変多くの方にご来場いただきました。

会場提供にご協力いただいた戸田市とは、イベント開催に当たっても、運営人員の応援協力や市主催でパークゴルフ体験を開催いただくなど協働が実現できました。

さいごに

令和元年度（2019 年度）以来の 3 年振りの開催となりましたが、「今年こそ是非開催して欲しい」との声が開催前より寄せられ、いかにこのイベントが地域に愛され定着しているかを強く感じました。今後も地域の方々と下水道との距離を縮めるツールとして「荒川・下水道フェスタ」の歴史を刻んでいきます。

荒川左岸南部
下水道事務所
50周年記念マンホール

「荒川・下水道フェスタ2022」の開催について

1 概要

- 荒川水循環センターの近隣住民、戸田市民などを主な来場者と想定した地元向けイベント
- 通水50周年を記念して製作するデザインマンホールを会場内でお披露目
- コロナ禍に配慮し、半日開催、飲食の出店や提供なし

●開催日時・場所
令和4年10月15日(土) 12:00~16:00
戸田市立荒川水循環センター上部公園

●主催: 埼玉県、(公財)埼玉県下水道公社
協力: 戸田市、(公財)戸田市水と緑の公社

●デザインマンホールお披露目 13:00~13:20
※上部公園特設ステージ

●企画内容

- ・下水道探検ツアー
- ・下水道の仕組み展示
- ・50周年写真パネル展示
- ・下水道をテーマにしたARクイズ
- ・デザインマンホールお披露目
- ・マンホールデザイン木製コースター配布
- ・緑日・エア遊具などのアトラクション
- ・50周年デザインマンホール
- ・パターゴルフ体験(戸田市協力)

2 デザインマンホールお披露目

荒川・下水道フェスタ会場内特設ステージにて50周年記念マンホールをお披露目する。
来賓: 戸田市長、戸田市選出県議、地元協議会会長、イオン関係者
県側: 下水道事業管理者、下水道公社理事長

3 課題及び解決策

- 駐車場のキャパシティ不足(※再構築工事に伴う慢性的不足)
→ 臨時駐車場の設置(日本下水道事業団研修センター他)
- 雨天時の対応
→ ・アトラクションの一部中止

開催効果

- 荒川水循環センターへの近隣住民・地域の理解促進
- 下水道事業・下水道施設のPR
- 地元との協力体制や関係の強化

◆会場レイアウトイメージ



・下水道の仕組み展示
・50周年写真パネル展示
・50周年記念マンホールお披露目 など



下水道探検ツアー



下水道の仕組み展示



下水道ARクイズ

図 - 1 荒川・下水道フェスタ 2022 開催企画書

荒川 下水道フェスタ 2022

通水50周年を記念して制作するデザインマンホールをお披露目します

令和4年10月15日(土)
12:00~16:00 ※お披露目式は13:00~13:30

会場：戸田市立荒川水循環センター上部公園

企画内容
 ●下水道探検ツアー
 ●下水道の仕組み展示
 ●50周年写真パネル展示
 ●下水道をテーマにしたARゲーム
 ●デザインマンホールお披露目
 ●マンホールカード特別配布
 ●マンホールデザインお祭りコースター配布
 ●抽選・エア遊具などのアトラクション
 ●大道芸人・歌手によるパフォーマンス
 ●パークゴルフ体験(戸田市協六)等

お魚すくい
ヨーヨーつり
スーパーボールすくい
ジャンボスライダー
アニマルランド

入場無料

雨天決行(アトラクション・エア遊具、大道芸等の一部中止)

パフォーマンス タイムスケジュール

時間	大道芸 (フリー)	踊り	音楽 (ステージ)
12:00~12:30	CLOWN HIRO (クラウン ヒロ)	12:00~12:20	有希(ゆうき)
12:30~13:00	ひろ	12:20~12:40	Eyes' (アイズ)
13:00~13:30	Shiva (シバ)	13:00~13:30	デザインマンホールお披露目式
14:00~14:30	CLOWN HIRO (クラウン ヒロ)		
15:00~15:30	ひろ	15:00~15:30	有希(ゆうき)
15:30~16:00	Shiva (シバ)	15:30~16:00	Eyes' (アイズ)

CLOWN HIRO (クラウンヒロ)
本場ヨーロッパの音楽で盛り上げます。クラウンヒロは、お披露目パフォーマンスで盛り上げます。

有希(ゆうき) <http://yuuki.com>
横浜生まれ育ち、石巻市で音楽の道に進んだ、有希はひたひたの音楽家です。

ひろ
ハートジャグリングとアポロバットを中心としたショーで、イベントやフェスティバル等に多く出演。海外でも活躍、海外でも有名。

Eyes' (アイズ) <http://eyesmusic.net/>
毎晩自身のシンセサイザーで演奏している、新しい音楽を心にしる音楽家。音楽は心をつなぐ大切な存在です。

Shiva (シバ)
本場ヨーロッパの音楽で盛り上げます。クラウンヒロは、お披露目パフォーマンスで盛り上げます。

【主催】埼玉県、公団財団法人埼玉県下水道公社
【協力】戸田市、公団財団法人戸田市水と緑の公社
【問い合わせ先】
埼玉県 戸田市下水道部下水道事務所 総務管理課
TEL: 048-861-2052 FAX: 048-861-2056

駐車場は身代シブシブセンターです。
お披露目式は、お披露目式です。
お披露目式は、お披露目式です。
お披露目式は、お披露目式です。

図-2 荒川・下水道フェスタ 2022 チラシ



写真-2 マンホールカードの配布



写真-3 クマムシくんと子どもたち



写真 - 4 テント展示

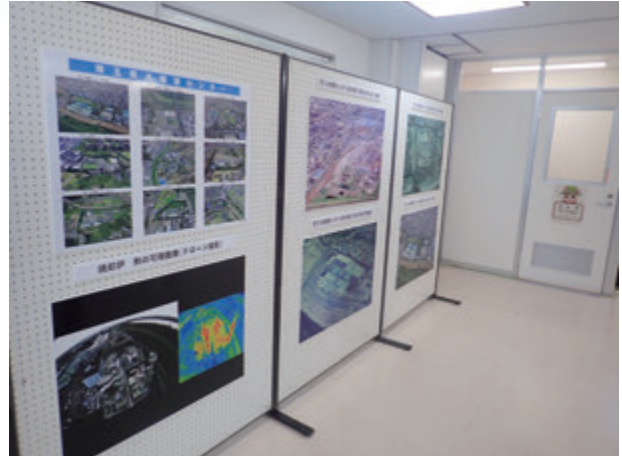


写真 - 5 パネル展示



写真 - 6 マンホール蓋展示



写真 - 7 下水道トークショー



写真 - 8 ジャンボスライダー



写真 - 9 スーパーボールすくい



写真-10 射的



写真-11 「CLOWN HIRO (クラウンヒロ)」さん



写真-12 「Shiva (シバ)」さん



写真-13 「ひいろ」さん



写真-14 「Eyes' (アイズ)」さん

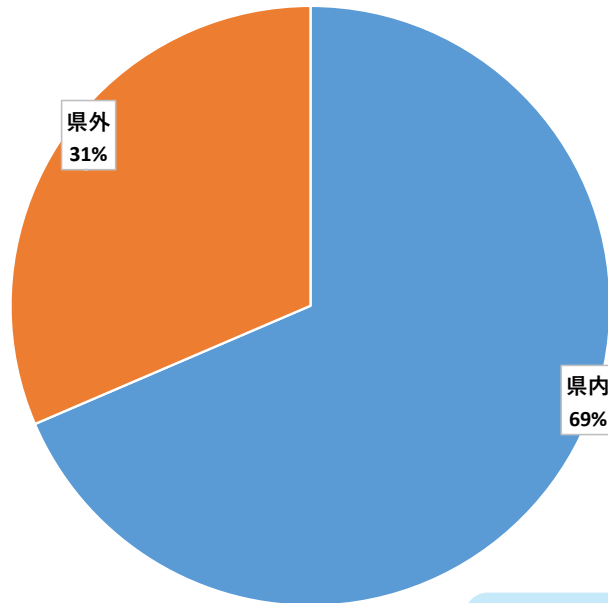


写真-15 「有希 (ゆうぎ)」さん

来場者アンケート

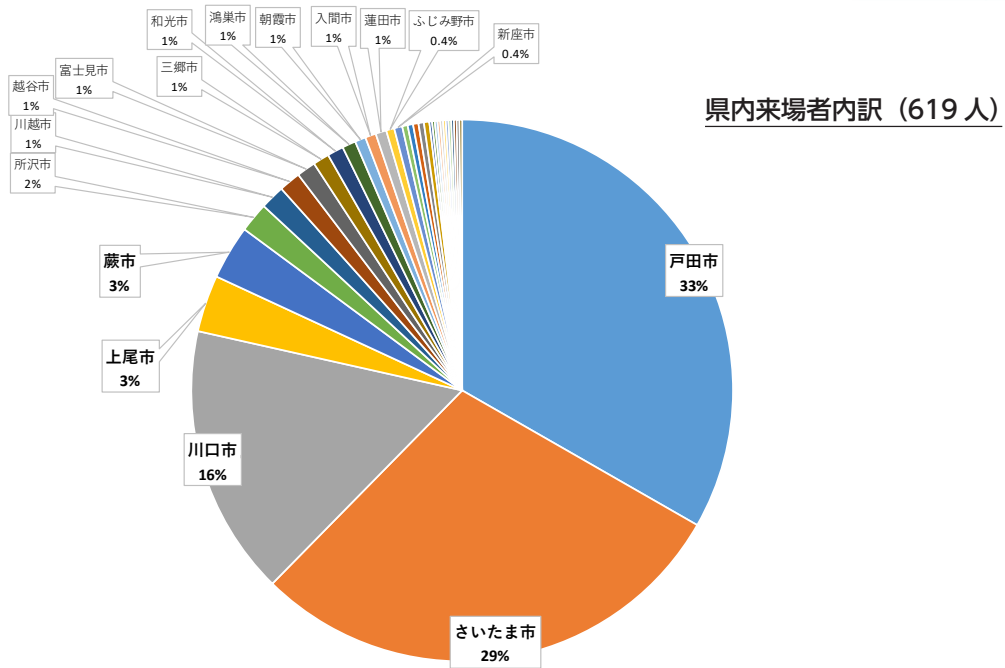
御来場いただいた方にアンケートを実施しました。

① 全体来場者内訳（計 903 人）

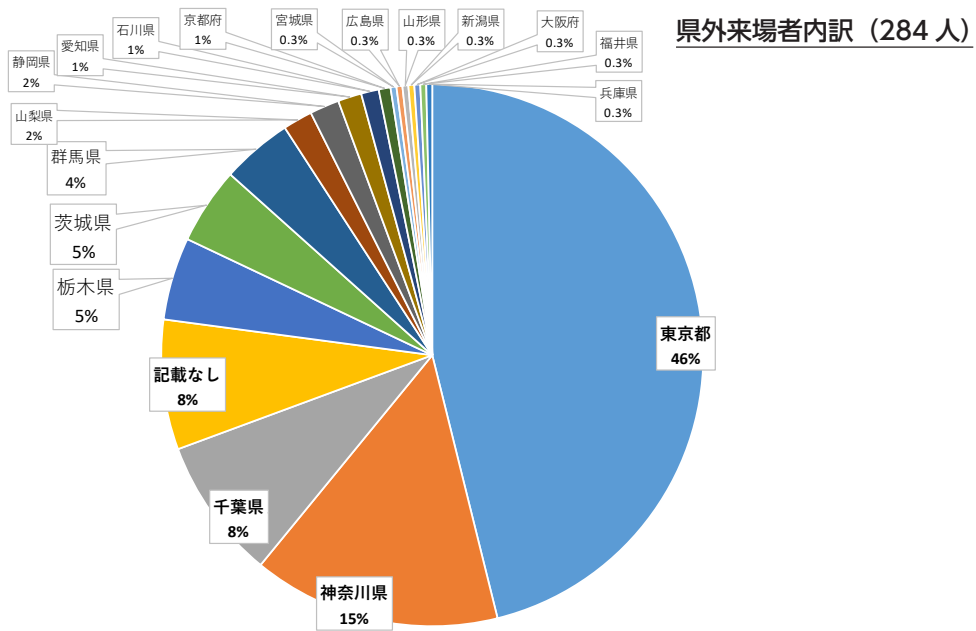


県内が約 7 割を占めましたが、それ以外の 3 割は県外からの来場者でした。



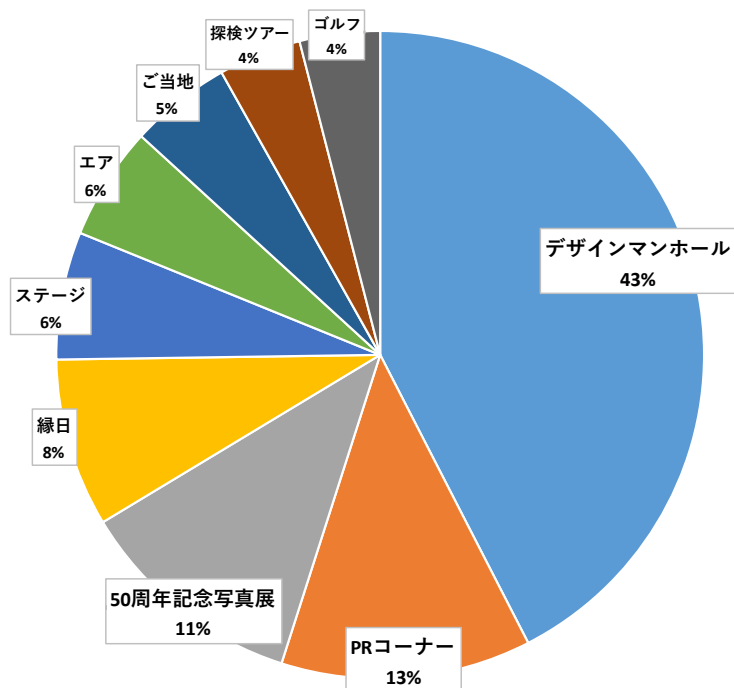


県内来場者は戸田市が約3割で、続いてさいたま市、川口市でした。荒川左岸南部流域からの来場者は85%を占めていました。



県外来場者は東京都が約5割で、続いて神奈川県、千葉県と関東近県からの来場者が多くみられました。

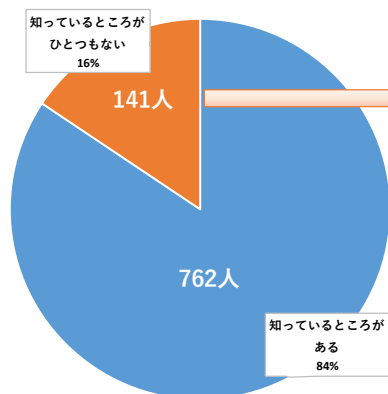
② 興味のある展示（複数回答：計 1,522 人）



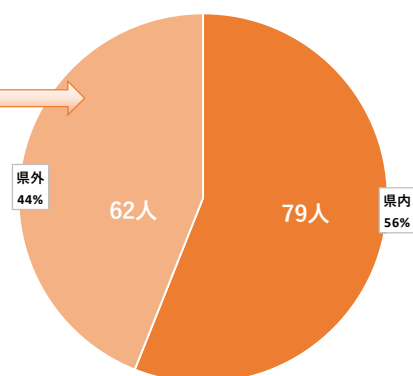
50 周年記念マンホール蓋のお披露目ということもあり、約 4 割の方がデザインマンホール蓋に興味を示されていました。次に PR コーナー、50 周年記念写真展と 50 周年記念事業に多く着目して頂きました。

③ 流域下水道の知名度（計 903 人）

流域下水道と水循環センターの知名度 1（903 人）



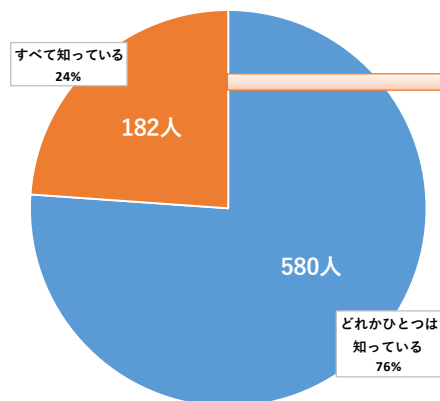
来場者県内外の割合（141 人）



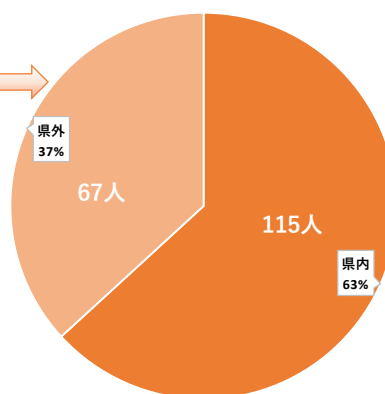
流域下水道については約 8 割の方が「知っているところがある」という結果になりました。なお、「知っているところがひとつもない」の内訳は県内が約 6 割、県外が約 4 割となりました。

④ 水循環センターの知名度（計 762 人）

流域下水道と水循環センターの知名度 2（762 人）

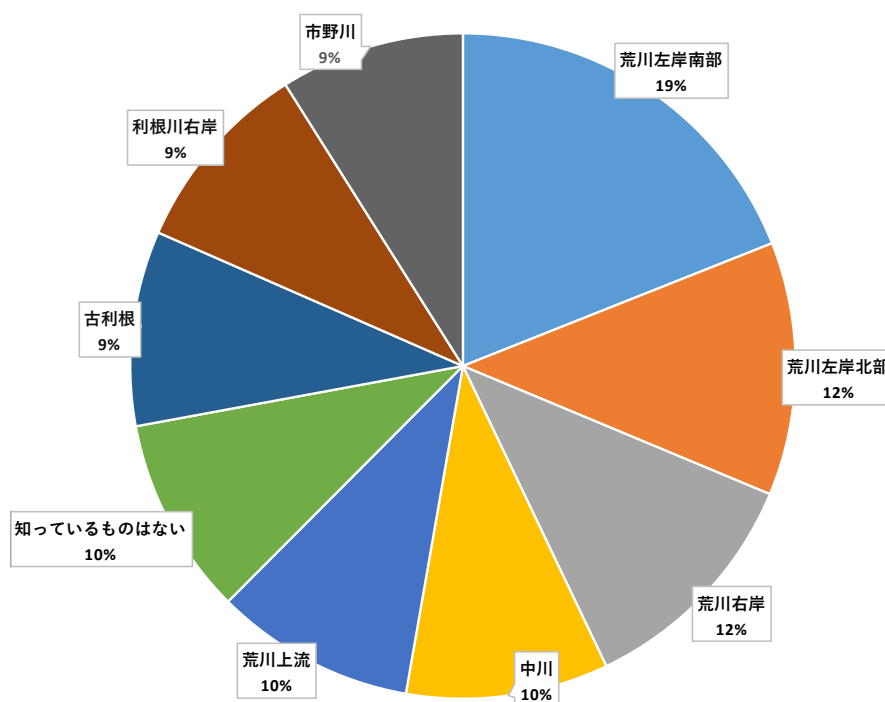


来場者県内外の割合（182人）



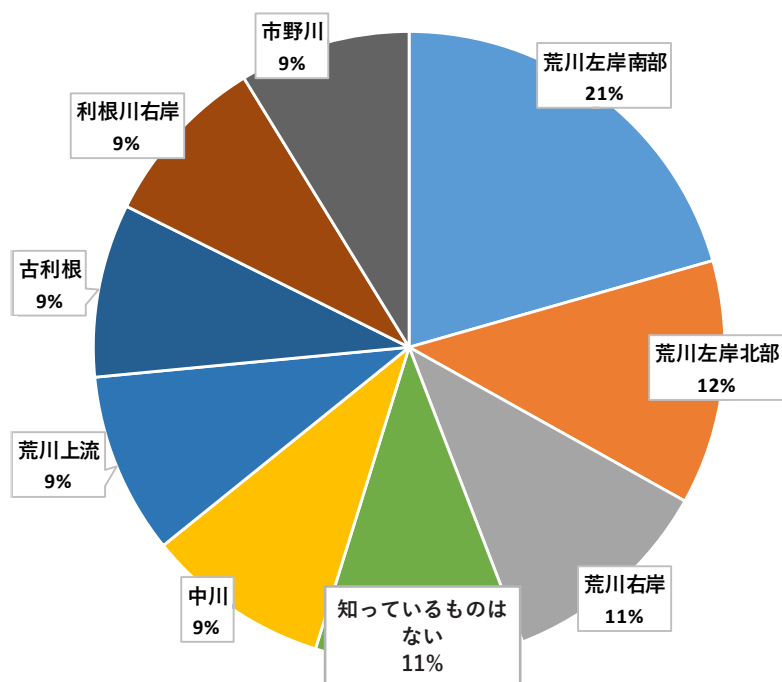
水循環センターの知名度は約8割の方が「どれか一つは知っている」と回答されました。なお、「すべて知っている」の内訳は県内が約6割、県外が約4割となりました。

⑤ 知っている流域下水道（複数回答：計 2,713 人）

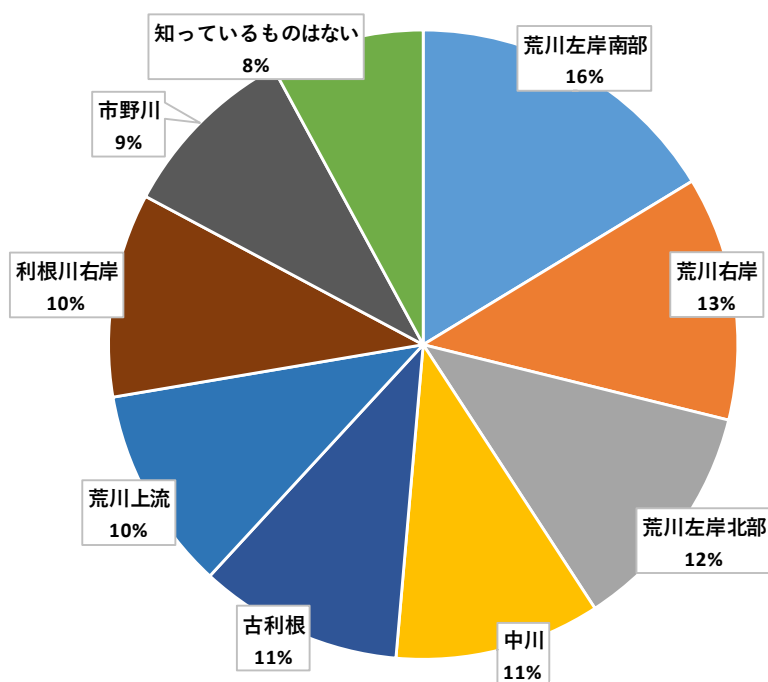


約2割の方が荒川左岸南部を御存じで、続いて荒川左岸北部、荒川右岸という結果になりました。

知っている流域下水道 県内 (複数回答: 計 1,701 人)

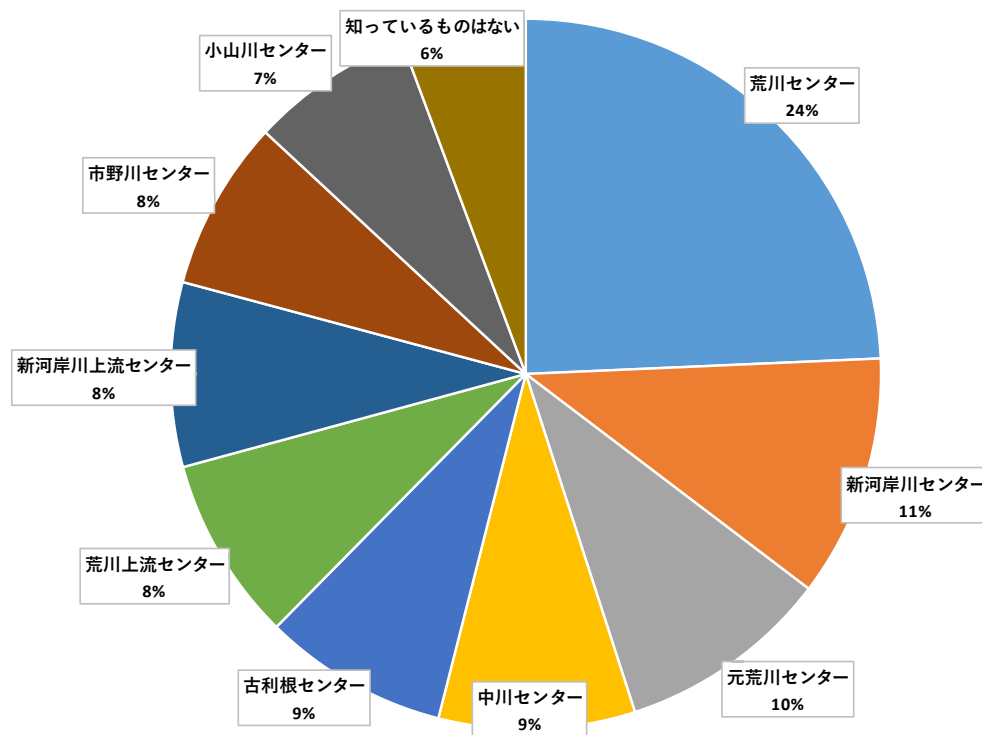


知っている流域下水道 県外 (複数回答: 計 1,012 人)



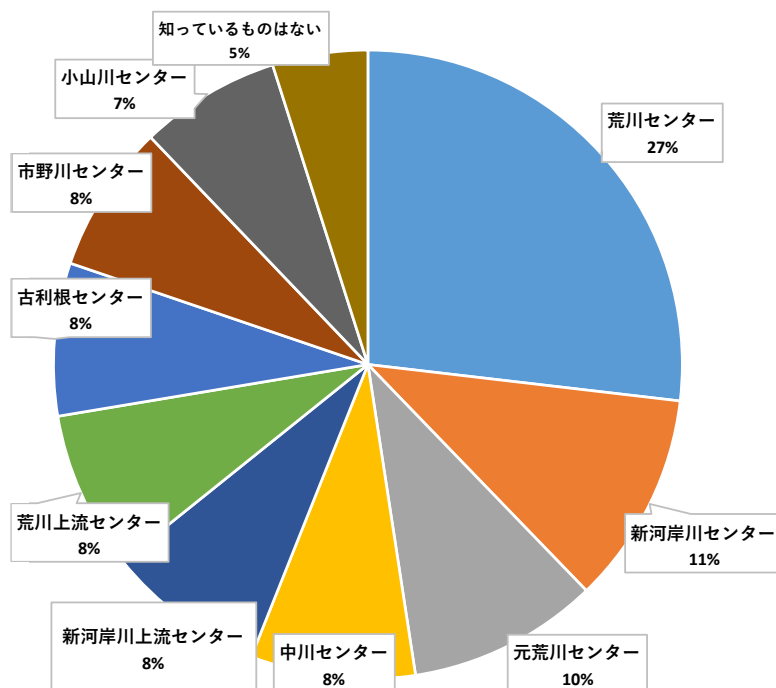
県内、県外の内訳をみると、両方とも荒川左岸南部が一番多い結果となりました。

⑥知っている水循環センター（複数回答：計 2,765 人）

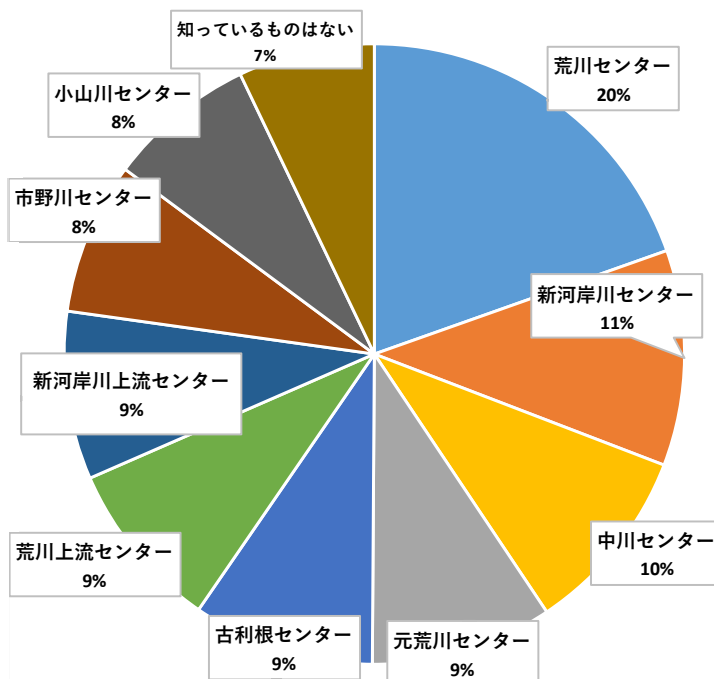


荒川水循環センターが約 2 割で、続いて新河岸川、元荒川という順番になりました。

知っている水循環センター 県内（複数回答：計 1,795 人）

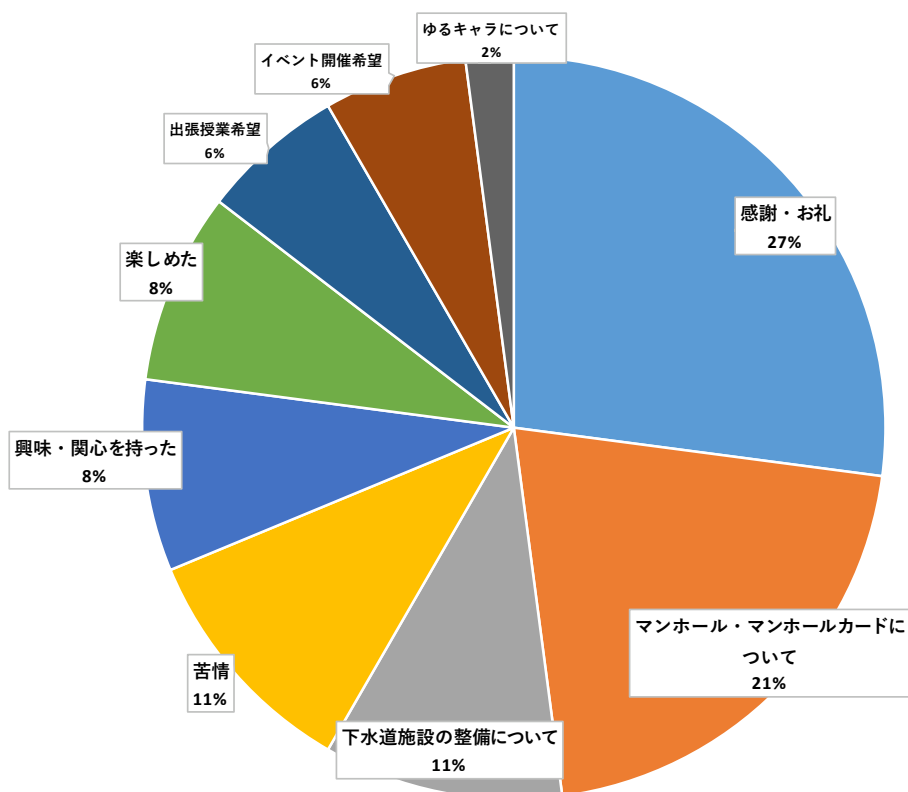


知っている水循環センター 県外（複数回答：計 970 人）



県内と県外どちらも荒川水循環センターを知っている方が最も多いという結果になりました。

⑦ 下水道に関するご意見（計 48 人）



下水道に対する感謝・お礼を約3割の方にいただき、続いてマンホール蓋・マンホールカード、下水道施設の整備、と続きました。

【自由意見（抜粋）】

- ・通水 50 周年おめでとうございます。
- ・縁の下の力持ち的存在で、日々の生活において感謝しています。
- ・イベントを通し、下水道を広く PR をするのは良い試みだと思います。毎年趣向を変えたテーマでやってくると嬉しいです。
- ・処理区の自治体の歴代のデザインマンホール蓋の展示なども行ってほしい。
- ・マンホールカード人気がこんなにすごいとは思いませんでした。
- ・ゲリラ豪雨にも負けない環境整備をお願いします。

5. 「第9回埼玉フェア」イオンレイクタウン店舗内における 荒川左岸南部流域下水道通水50周年PR

埼玉県とイオン(株)・イオンリテール(株)では包括的連携協定を締結し、地域振興や県民サービスの向上に連携して取り組んでいます。令和4年(2022年)9月16～20日にイオンレイクタウンで開催された「第

9回埼玉フェア」内で通水50周年PR事業として、埼玉県流域下水道のデザインマンホール蓋の展示を行いました。



写真-1 イオンレイクタウンでのデザインマンホール蓋の展示

イオンレイクタウンでのPRを企画

下水道事業は生活排水等の処理を通して日頃より、住民生活を陰で支えている縁の下の力持ちとして社会に貢献しています。しかしながら、通常、マンホールの本体部分、管きょ等は道路下に設置され、普段の生活の中で住民の目に触れる機会はありません。また、下水処理場も決して住民にとっては身近な施設ではありません。そのことから、下水道事業の果たす役割や重要性が住民に広く浸透しているとは言えないのが現実です。日頃、人の目に触れる機会が極めて少ないという宿命を持っているのが下水道事業です。

こういった下水道事業の特性を鑑み、一般の方に下水道に触れていただくことを目的に、包括的連携協定の仕組みを活用することで、日本最大級の商業施設と言われる「イオンレイクタウン」の中で下水道事業を広くPRできる非常に貴重な機会を得ました。

今回、「第9回埼玉フェア」への出展実現に至るプロセスとして、最初に包括的連携協定の埼玉県窓口であ

る企画財政部行政・デジタル改革課からイオンリテール(株)の担当者様を紹介してもらうとともに、荒川左岸南部流域下水道通水50周年のPR企画について説明する場を設けていただきました。企画内容を担当者様に説明したところ、下水道事業をPRするためのコンテンツに強い関心が示されました。

その結果、マンホールカードの配布、デザインマンホール蓋や下水道の仕組みの展示及び50周年の歩みを紹介する写真展など、イオンレイクタウンにおける出展調整も進めることができました。

さいごに

荒川左岸南部流域下水道通水50周年の歴史・風景などの当時の写真展示を通じて、下水道事業の住民理解が進むきっかけにもなりました。

今後も官民連携という枠組みを活用しながら機会を捉え、積極的に下水道事業を広くPRしていきます。

AEON 県とイオン・イオンリテールとの包括連携協定に基づく 荒川左岸南部下水道事務所
「イオン店舗内における下水道事業(荒川左岸南部流域通水50周年)PR」について

1 名称等
 イオン・イオンリテールと県との包括的連携協定に基づく「埼玉フェア2022」における下水道事業PR
 主催: イオンリテール(株)北関東カンパニー (県の総合窓口: 行政デジタル改革課)
 出店: 荒川左岸南部下水道事務所、荒川右岸下水道事務所、中川下水道事務所、
 下水道公社荒川左岸南部支社

2 概要
 荒川左岸南部流域下水道が今年度通水50周年を迎えたことより、それをPRするためイオンリテール(株)が主催する「埼玉フェア2022」会場内にて「下水道PRスペース」を設け、荒川左岸南部流域下水道の歴史的な記録写真を50年の歩みとして展示紹介するほか、24時間365日間休むことなく稼働を続ける下水道の仕組みや果たす役割を右岸事務所・中川事務所の展示とともに広く県民向けにPRする。

3 開催場所
 イオンレイクタウンmori 1階木の広場(約100㎡)のうち50㎡ (9月16日)
 のうち15㎡程度 (9月17日)
 ※文化振興課WABISABI大祭典と場所をシェア利用 (9月16日)
 ※埼玉フェア開催記念セレモニー観覧スペース外周等を利用 (9月17日)

4 開催日時
 令和4年9月16日(金) 10:00~19:00
 17日(土) 10:00~19:00 ※規模を縮小して一部のみ展示
 50周年記念写真展及びデザインマンホールの展示
 ※(参考)開催記念セレモニー 9月17日(土)15:30~(イオンリテール(株)役員、大野知事 ほか出席)
 ※セレモニー開始前にステージで埼玉の下水道マスコットがコバトン及び市町村ゆるキャラと共演

5 設営・撤去時間
 設営時間: 9月15日(木) 15:00~19:00 及び9月16日(金) 8:00~10:00
 撤去時間: 9月16日(金) 19:00~19:30
 9月17日(土) 19:00~19:30 (50周年記念写真展及びデザインマンホールの一部展示のみ)

■ 図-1 第9回埼玉フェア イオンレイクタウン店舗内 PR 企画書 (NO.1)

AEON 県とイオン・イオンリテールとの包括連携協定に基づく 荒川左岸南部下水道事務所
「イオン店舗内における下水道事業(荒川左岸南部流域通水50周年)PR」について

■9月16日(金) 10:00~19:00 下水道PRコーナー配置図 レイクタウンmori 1階木の広場

★ステージ背面モニターによる
 下水道PR映像の放映
 (イベント時間中、リピート再生)

・マンホールサミット紹介
 ・中川バイogas発電
 ・荒川水循環センターのドローン実証実験
 ・下水道施設PR動画 等

約50枚の写真展示

全流域の展示

南部 中川 右岸
 「マンホールカード」
 3種類のうち2種類を
 プレゼント

生け花展示
 (文化振興課)

下水道マスコット
 記念撮影

「クマムシくん」
 「クマニャンコちゃん」
 写真撮影

マンホール展示

50周年記念写真展

中川PR
 右岸PR
 下水道事業PR

カード配布
 アンケート

中川・右岸
 ●中川・右岸下水道事業PR

(南部支社)
 ●下水道の仕組み展示

(南部・中川・右岸)
 ●マンホールカード配布

(南部)
 ●50周年記念写真展
 ●デザインマンホール展示
 ●下水道キャラクターと写真
 撮影(12時、18時)

【内容】

ストックスペース

モニター

■ 図-2 第9回埼玉フェア イオンレイクタウン店舗内 PR 企画書 (NO.2)



■ 図-3 第9回埼玉フェア イオンレイクタウン店舗内 PR 企画書 (NO.3)



■ 写真-2 50周年写真展



■ 写真-3 PR動画を放映



写真 - 4 大野元裕埼玉県知事の視察



写真 - 5 今成貞昭埼玉県下水道事業管理者(中央)



写真 - 6 伊田恒弘埼玉県下水道局長(左)

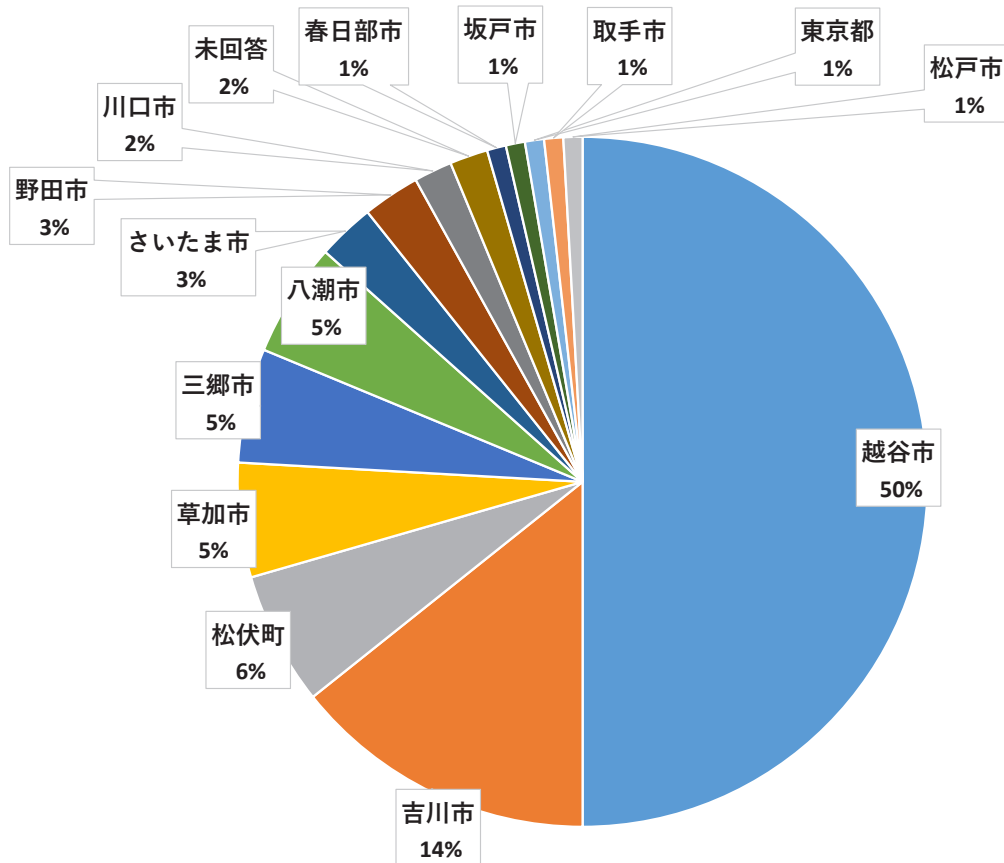


写真 - 7 クマムシくん、クマニャンコちゃんによるステージ

アンケート結果

御来場いただいた方に次の通りアンケートを実施しました。

① 来場者の市町村 (計: 112 人)

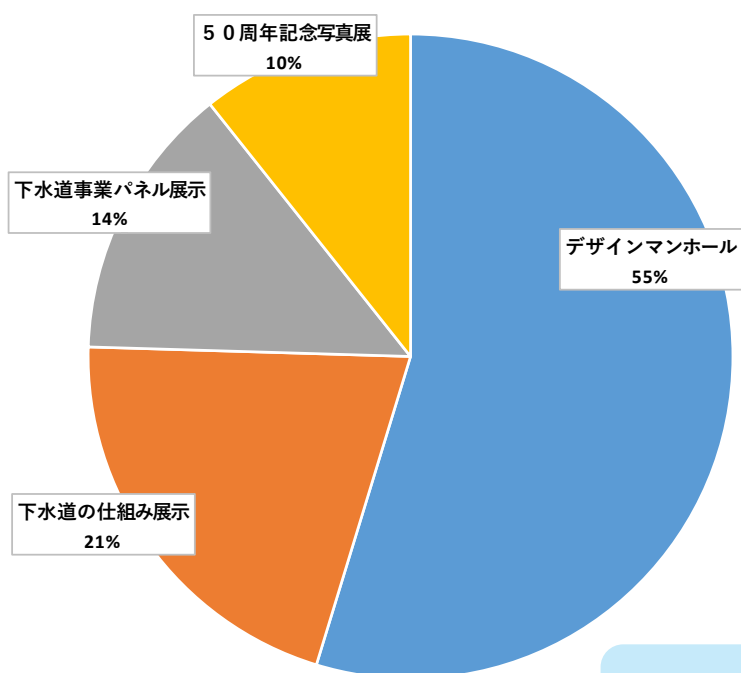


来場者の86%を占める市町村



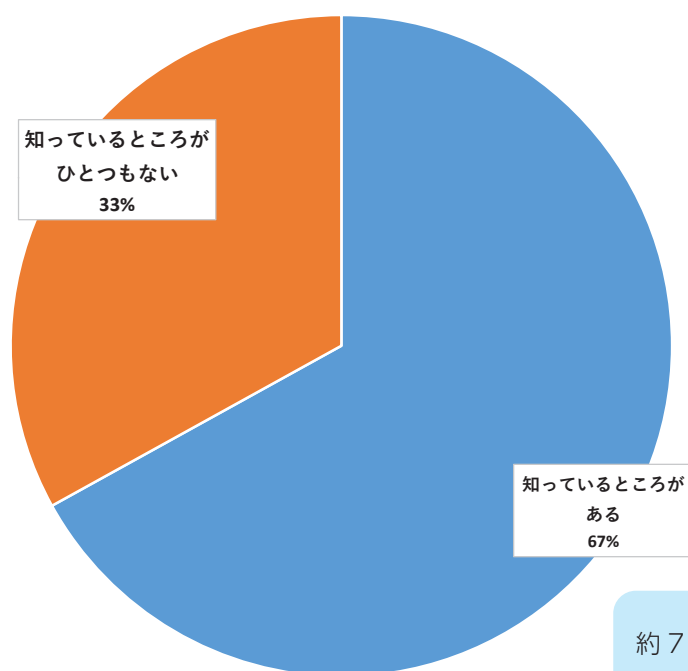
来場者の86%が越谷市、吉川市、松伏町、草加市、三郷市、八潮市から御来場いただいたことがわかりました。

② 興味のある展示（複数回答：計 159 人）



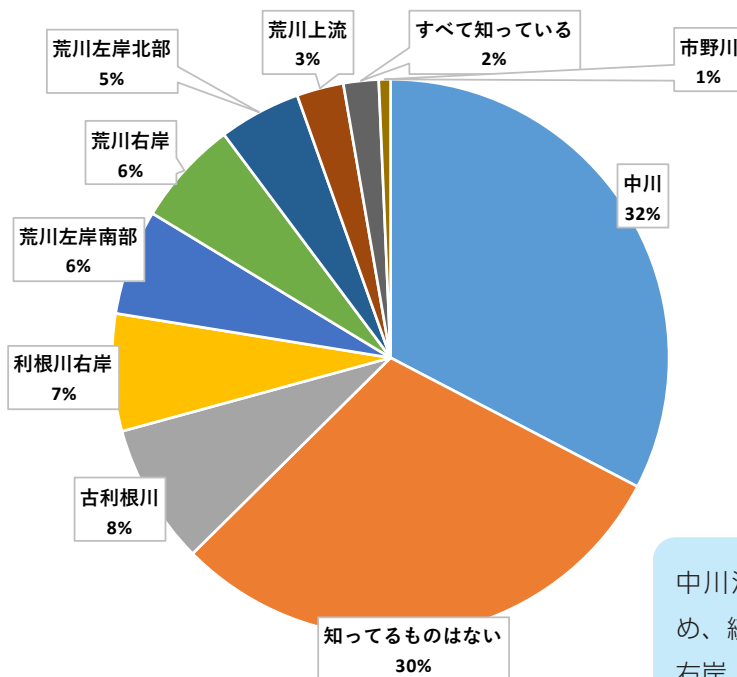
5割以上の方がデザインマンホール蓋に興味があると回答されました。

③ 県内の流域下水道と水循環センターの認知度（計：112人）



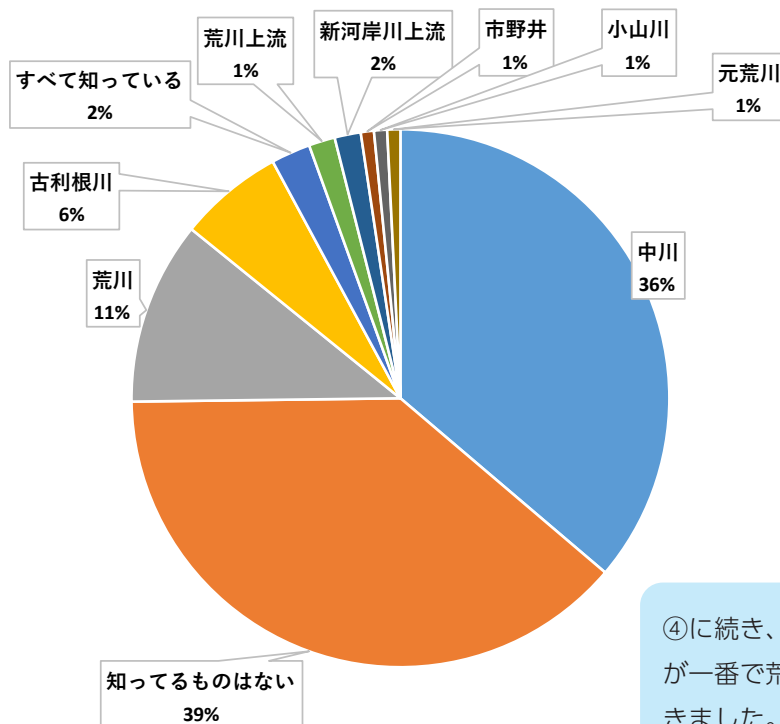
約7割の方が埼玉県内の流域下水道及び水循環センターについて御存じでした。

④ 知っている流域下水道（複数回答：延べ 147 人）



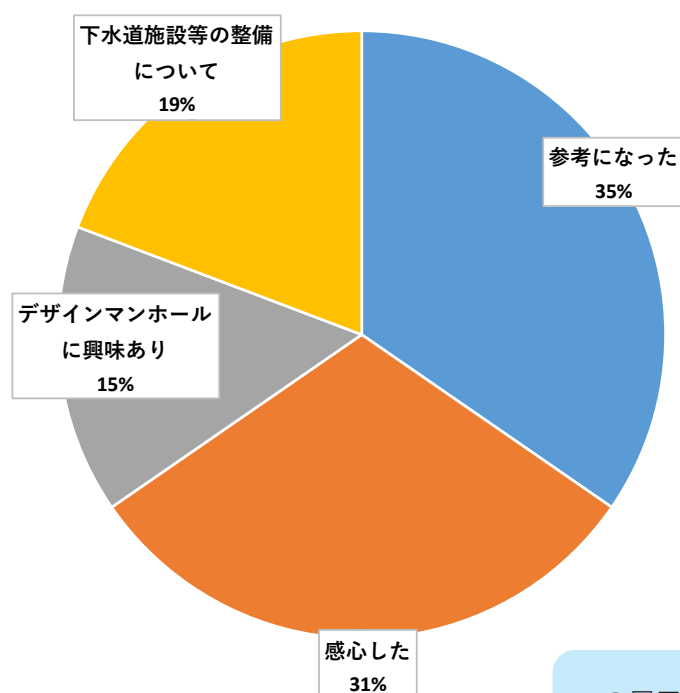
中川流域下水道が3割を占め、続いて古利根川、利根川右岸、荒川左岸南部という順番になりました。

⑤ 知っている水循環センター（複数回答：延べ 127 人）



④に続き、中川循環センターが一番で荒川、古利根川と続きました。全て知っている方も2%いらっしゃいました。

⑥ 下水道に関するご意見 (計 26 人)



この展示に関してそれぞれ約 3 割の方に「参考になった」、「感心した」という意見を頂きました。

【自由意見 (抜粋)】

- ・ 親切な説明を頂き勉強になりました。
- ・ きれいなデザインマンホール蓋をもっと作ってほしい。
- ・ 廃棄物が燃料になることに驚きました。
- ・ 私の住んでいる地域は下水道が供用していないので、早く整備してほしい。
- ・ 下水処理場の跡地利用の安全性について非常に良く教えて頂きました。

6. 「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内における 荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年 PR

埼玉県とイオン(株)・イオンリテール(株)との包括的連携協定に基づき、令和 4 年(2022 年)10 月 29、30 日にイオンスタイル北戸田の開店 18 周年を祝う

「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内にて荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年を含む下水道事業の PR を行いました。



■ 写真 - 1 埼玉の下水道マスコットのクマムシくん、クマニャンコちゃん登場

イオンスタイル北戸田での出展のきっかけ

「第 9 回埼玉フェア」会場内に出品した PR ブース等が見学者からも好評を得たため、荒川水循環センターの地元であり戸田市内の商業施設である、イオンスタイル北戸田のイベントスペースをお借りし、同内容の PR を実施しました。

地元とも言える場所での PR 活動が実現できたのは、荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年を記念して発行するマンホールカードをイオンモール北戸田で配布していただけないかと担当者様と交渉していたところ、先方から「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内にて荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年を含む下水道事業の PR の実施についてお声がけをいただいたことに

よるものです。

地元の方に限定した PR を展開

この出展に当たり工夫した点は、展示スペースに限りがあり、「第 9 回埼玉フェア」と同内容での展示が難しいため、PR 内容を地元絞ったことです。

展示物も、デザインマンホール蓋や 50 周年記念写真・パネルの展示に限定しました。結果として、地元の方々から多くの関心を寄せていただきました。

展示をご覧いただいた皆様からのアンケート結果からも「下水道事業のことが知れて良かった」「非常に勉強になった」「下水道事業に興味を持った」など、好意的な意見を数多くいただいております。

さいごに

荒川水循環センターの地元戸田市の商業施設で、荒川左岸南部流域下水道通水50周年をはじめ、下水道事業をPRする機会が得られたことは大変貴重なことであり、皆様に下水道事業について少しでも知っていただくことができました。

また、下水道事業PRを通じて、下水道事業と地域との共生を意識しながら業務を遂行することの大切さを改めて認識することができました。

今後も下水道事業のPRを積極的に行ってまいります。



写真-2 デザインマンホール蓋の展示



写真-3 下水道事業PR映像を放映

AEON 「イオンスタイル北戸田周年祭」における下水道事業PRについて		荒川左岸南部 下水道事務所
1 名称	「イオンスタイル北戸田周年祭」における下水道事業PR 出展: 荒川左岸南部下水道事務所、下水道公社荒川左岸南部支社	
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール北戸田店内にて荒川左岸南部流域下水道の通水50周年等をPRする。 ・荒川左岸南部流域下水道の紹介コーナーを設け、県民(主な対象者は荒川水循環センター近隣の方)向けに下水道事業をPRする。 	
3 開催場所	イオンモール北戸田店 1階イベントスペース(店舗前通路の中央部分)	
4 開催日時	令和4年10月29日(土)、30日(日) 10:00~18:00	
5 内容	(1) 下水道キャラクターと写真撮影 3回(11時、14時、16時) (2) デザインマンホール展示(50周年2枚、南部流域1枚) (3) マンホールカード配布1種類(南部流域) ※アンケート回答者に紙製コースターとともに配布 (4) 下水道事業PR動画放映(マンホールサミット、ドローン実証実験、50周年マンホール設置場所など)	
6 出展スペース	(W)4.00メートル × (D)3.20メートル	

図-1 「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内PR企画書(No.1)

AEON **イオンスタイル北戸田周年祭における下水道事業PRについて** 荒川左岸南部
下水道事務所

1 主な企画概要

(1) 埼玉の下水道マスコット「クマムシくん」「クマニャンコちゃん」登場
①11:00～11:20 ②14:00～14:20 ③16:00～16:20
着ぐるみとっしよに記念撮影ができます。



(2) 埼玉県南部流域下水道デザインマンホール展示 3枚
(50周年2枚 + 南部流域1枚)
10:00～18:00



(3) 埼玉県南部流域下水道マンホールカード配布
10:00～18:00
埼玉県南部流域下水道マンホールカード1種類(第4弾)が手に入ります。
※50周年記念マンホールカード(第17弾)は配布しません。




■ 図-2 「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内 PR 企画書 (NO.2)

AEON **イオンスタイル北戸田周年祭における下水道事業PRについて** 荒川左岸南部
下水道事務所

1 出展スペース

1階 センtralコートとインフォメーションの間
面積 12.8㎡ (W4.0m × D3.2m)
※通路中央(店舗と店舗の間)

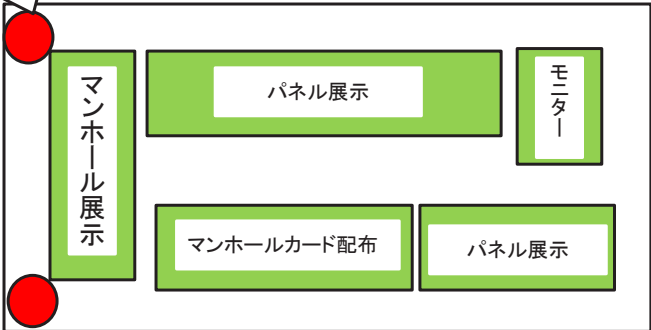


2 出展配置イメージ

展示物

- マンホール蓋 3枚(土管付)
(W2.05m × D0.5m)
- 長机 1台(W1.8m × 0.45m)
- TVモニター 1台(DVD附属)
- パネル展示
- イーゼル 1台
- 着ぐるみ2体(写真撮影時)

クマムシくん、クマニャンコちゃん

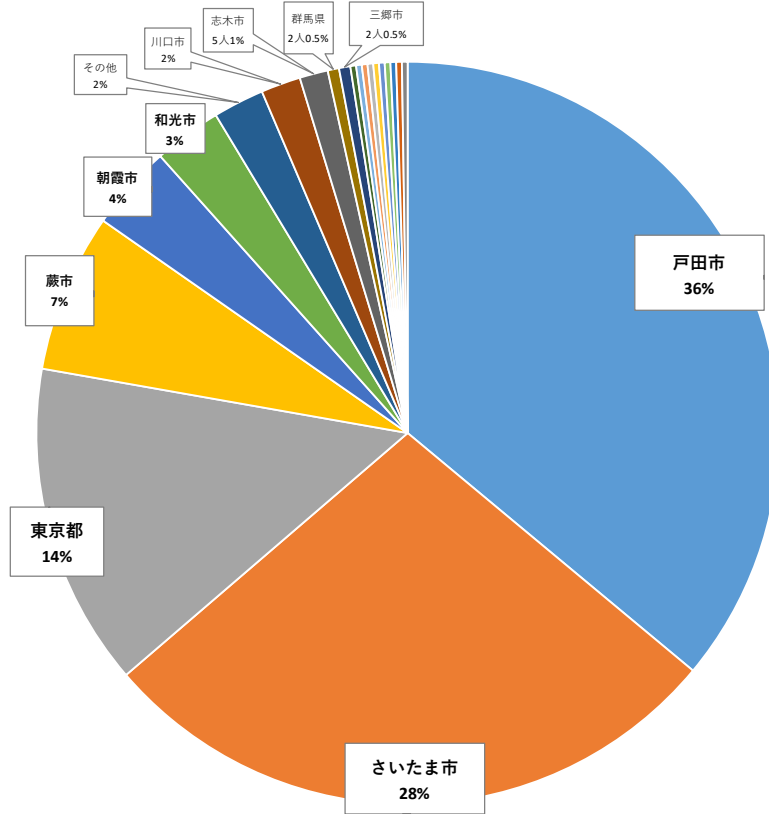


■ 図-3 「イオンスタイル北戸田周年祭」会場内 PR 企画書 (NO.3)

アンケート結果

御来場いただいた方にアンケートを実施しました。

① 来場者内訳 (計 405 人)

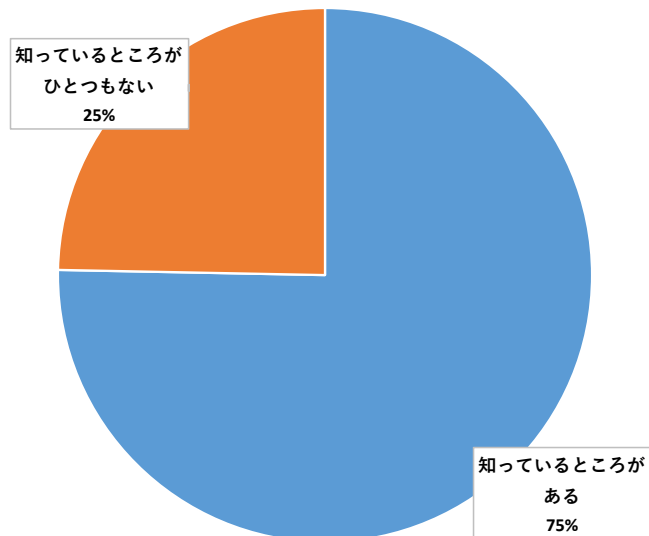


戸田市、さいたま市が大部分を占め、県内近隣市からの来場者は全体の80%でした。なお、東京都からの来場者も14%いらっしゃいました。

県内来場者の内訳

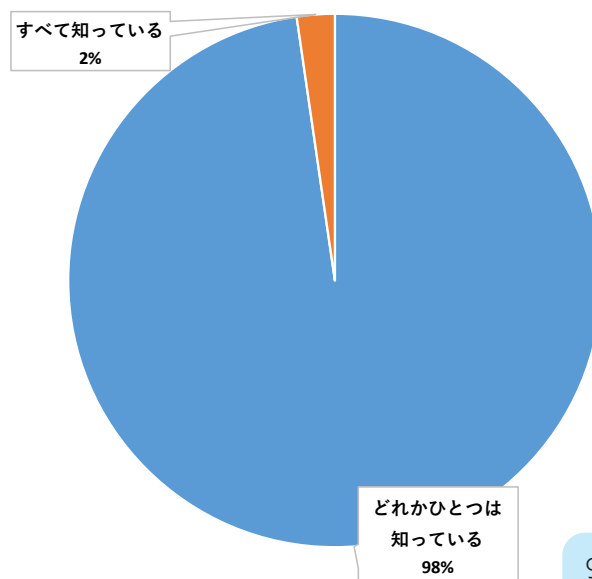


② 流域下水道の知名度（計 405 人）



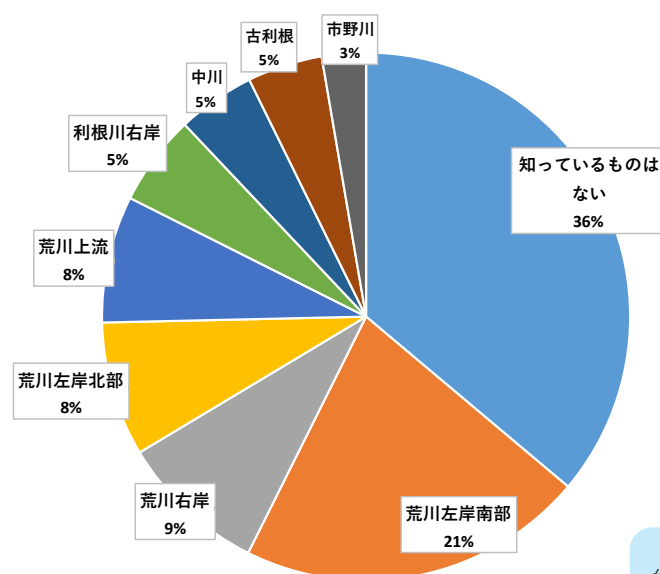
約 7 割の方から「知っているところがある」との回答を得ました。

③ 水循環センターの知名度（計 305 人）



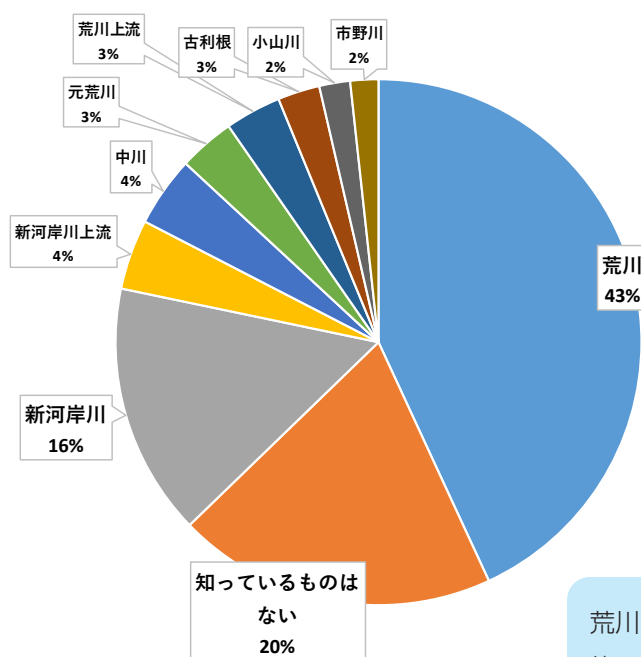
98%の方が埼玉県内にある水循環センターについてどれか一つは知っていると回答していただきました。

④ 知っている流域下水道（複数回答：計 631 人）



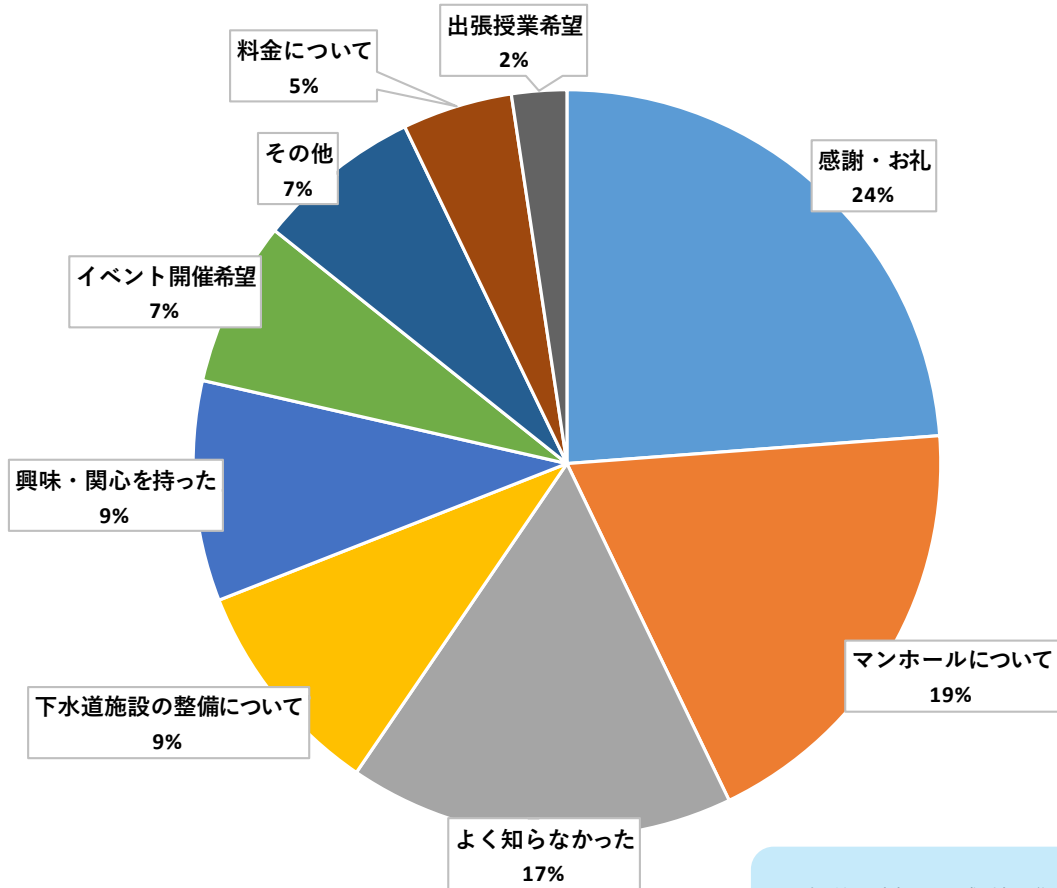
約 2 割の方が荒川左岸南部を御存じで、続いて、荒川右岸、荒川左岸北部となりました。

⑤ 知っている水循環センター（複数回答：計 580 人）



荒川水循環センターを御存じの方が約 4 割という結果になりました。

⑥下水道に関するご意見（計 42 人）



下水道に対する感謝・御礼を多く頂き、次にマンホール蓋、下水道施設の整備について、と続きました。

【自由意見（抜粋）】

- ・デザインマンホール蓋が増えると市民の意識が高まって、壊れたりしていると、すぐ知らせようという思いになるので、非常に良いと思います。
- ・マンホール蓋の絵柄が地域性があるとおもしろいと思います。
- ・下水道について知らないことが多いと思った。
- ・下水道に対して汚いイメージが無くなってきました。
- ・ひと昔前は雨水が溢れていましたが、整備されて無くなってきました。
- ・学校にも下水道のことを教えに来てほしい。

7. 「第10回マンホールサミット in 所沢」 会場内ブース出展におけるPR活動

「第10回マンホールサミット in 所沢」（主催：所沢市上下水道局・下水道広報プラットフォーム（GKP））は、所沢市・ところざわサクラタウンをメイン会場に令和4年（2022年）11月19日に開催されました。

マンホールサミットはコロナ禍のため3年ぶりの開

催となりましたが、当日は好天に恵まれ全国から約14,000人の来場者にお越し頂き、大盛況でした。

また、このイベントにおいて、埼玉県及び埼玉県下水道公社は幸運なことに会場内にブースを出展し、下水道事業をPRできる機会を得ました。



写真-1 埼玉県・埼玉県下水道公社会場内出展ブース（50周年記念マンホール蓋の展示）

「第10回マンホールサミット in 所沢」での出展のきっかけ

所沢市からの協力依頼により埼玉県と埼玉県下水道公社が「マンホールサミット埼玉（2017年）」のノウハウをもって実行委員会への参画やブース出展、県内マンホール蓋の収集運搬・展示などを行い、「一緒に盛り上げていこう!」と協同しました。

また、ブース内の一部スペースを活用して、荒川左岸南部流域下水道通水50周年をPRする機会を得ました。

出展ブースにおけるPR活動

会場内では、出展ブース正面に50周年記念マンホール蓋を設置し、全国からお越しいただいた来場者の方へお披露目するとともに、新規発行した荒川左岸南部流域

下水道通水50周年記念マンホールカード2枚（埼玉県版1枚、埼玉県下水道公社版1枚）及び地元の荒川右岸流域下水道マンホールカード1枚の計3枚を配布しました。

新規発行した50周年記念マンホールカード2枚は会場内限定で先行配布（イオンモール北戸田での正式配布は翌月の12月1日から）しました。このため、マンホールカード愛好家を中心にカードを求める列が途切れることはありませんでした。

マンホールカード3種類は、それぞれ7,000枚、計21,000枚用意したにもかかわらず、イベント終了時間のおおむね1時間前には、全て配り終えてしまいました。

出展ブースでは、そのほかにも、「顔ハメパネル」や、遊びながら下水道事業に親しんでもらう「ウンチ投げ

ゲーム」のアクションも大盛況でした。

10 種類（埼玉県内の各流域下水道 8 種類、荒川左岸南部流域下水道通水 50 周年記念 2 種類）のデザインマンホール型の「顔ハメパネル」では、家族連れやグループでお越しの方々が、代わる代わる被り、写真撮影している風景を大変多く見かけました。

また、「UNCHI 投げゲーム」は、小さなお子さんを中心に、成功や失敗した時に思わず出てしまう大きな歓声が絶え間なく響いていました。一生懸命に狙いを定めて投げている様子や、結果に一喜一憂している姿はとても微笑ましいものでした。

さいごに

今後もこうしたイベント会場内でデザインマンホール蓋の展示やマンホールカード配布ができる機会を活用し、荒川左岸南部流域下水道を積極的に PR していきます。

このような PR の機会を提供いただきました「第 10 回マンホールサミット in 所沢」主催者の皆様には、この場をお借りしまして改めてお礼申し上げます。

第10回 マンホールサミット in 所沢

2022年 **11月19日(土)開催!**

参加無料

会場：ところざわサクラタウン、東所沢公園、所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO

時間：10:00～17:00

マンホールサミットとはー
マンホール蓋の集まりはもう一度、大規模な展示を通して開催するイベント。今回は「COOL×COOL×COOL?」をテーマに、下水道施設見学に際したパネルシアターや「ところざわサクラタウン」をはじめとする多摩川からCOOLなマンホール蓋の魅力を発信。参加無料のイベントも盛り込んで開催します。マンホールサミットにしよう!

今注目
・埼玉県下のマンホール蓋が大集合!
・マンホールの証「マンホールバッジ」をプレゼント!
・会場を巡って大抽選会に挑戦!
・トークイベントで「じゃんけん大会」があります
・通水最大規模のマンホール蓋展示!

参加特典
マンホールバッジ
マンホールグッズ
マンホールカード
マンホールカード
マンホールカード
マンホールカード

第10回 マンホールサミット in 所沢 プログラム

まずは、発行でイベント情報をゲット!

ところざわサクラタウン ジャパンパビリオンホールA 13:00～16:30

<トークイベント> トークイベントへのご参加には「事前抽選の申込み」が必要です

オープニング
13:00～13:10 開会 演説 会（マンホールサミット実行委員会副委員長）
横山 莉華（2022ミス日本「水の天使」）

13:10～13:20 市長挨拶 所沢市長 藤本 正人

リレートーク
13:20～13:30 所沢市職員

13:30～13:50 森川 あやこ
マンホール大好き office アイム池袋

13:50～14:10 Hole in one
九州産業大学 経済学部 佐藤 唯史

14:10～14:30 田中 美都
三菱商事株式会社社会貢献部

14:30～14:50 森本 達浩
みらくろ学舎 マンホール部員

14:50～15:10 休 憩

15:10～15:30 山本 ミツユエール
TOKYO国際放送キャスター・リポーター

15:30～15:50 猿井 敦子
TOKYO国際放送キャスター

15:50～16:10 白濁 広平
所沢市マンホール部員

16:10～16:30 じゃんけん大会・エンディング

ところざわサクラタウン 中央広場、東所沢公園
所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO 10:00～17:00

<観覧イベント>
◆マンホール蓋展示 ◆飲食コーナー ◆特別イベント
◆マンホールグッズ配布 ◆下水道展示

※会場内にはトイレが複数あり、混雑発生による順番待ちがあります。あらかじめご了承ください。

事前登録でスムーズな入場が可能です。
QRコードから所沢市ホームページにアクセスし、「マンホールサミット申込フォーム」よりお申し込みください。リレートークの事前抽選の申込みはこちらからお申し込みいただけます。（申込フォームは9月中旬公開予定です）

所沢市マンホールサミット

お問い合わせ
マンホールサミット in 所沢実行委員会事務局
（所沢市上下水道局 経営課）
TEL: 04-2921-1087 FAX: 04-2921-1094
https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/nurashi/sammit/

※お申し込みの際は公共交通機関をご利用ください。
※ご来場の際はご来場までお越しください。

図 - 1 第 10 回マンホールサミット in 所沢 チラシ



■ 写真-2 第10回マンホールサミット in 所沢 全景



■ 写真-3 埼玉県荒川左岸南部流域下水道マンホール蓋展示